

# 第3回八王子市景観計画策定等検討会議

— 会議録 —

平成21年1月29日  
本庁舎907会議室

八王子市景観計画策定等検討会議事務局

会 議 名	第3回八王子市景観計画策定等検討会議										
開催日時	平成21年1月29日（木曜日）午後6時30分～午後8時40分										
開催場所	八王子市役所 本庁舎9階 907会議室										
出席委員	<table> <tr> <td>倉田 直道 委員</td> <td>高見澤 邦郎 委員</td> </tr> <tr> <td>田口 敦子 委員</td> <td>吉田 慎悟 委員</td> </tr> <tr> <td>今泉 満政 委員</td> <td>大津 和文 委員</td> </tr> <tr> <td>町田 典子 委員</td> <td>加賀谷 盾夫 委員</td> </tr> <tr> <td>小池 正男 委員</td> <td>花形 久美 委員</td> </tr> </table>	倉田 直道 委員	高見澤 邦郎 委員	田口 敦子 委員	吉田 慎悟 委員	今泉 満政 委員	大津 和文 委員	町田 典子 委員	加賀谷 盾夫 委員	小池 正男 委員	花形 久美 委員
倉田 直道 委員	高見澤 邦郎 委員										
田口 敦子 委員	吉田 慎悟 委員										
今泉 満政 委員	大津 和文 委員										
町田 典子 委員	加賀谷 盾夫 委員										
小池 正男 委員	花形 久美 委員										
欠席委員	<table> <tr> <td>亀山 章 委員</td> <td>角館 政英 委員</td> </tr> </table>	亀山 章 委員	角館 政英 委員								
亀山 章 委員	角館 政英 委員										
市出席職員	まちづくり計画部長 西田 和夫										
事務局	<table> <tr> <td>都市計画室主幹 西山 忠</td> <td>都市計画室主査 久田 伸之</td> </tr> <tr> <td>都市計画室主任 西澤 篤司</td> <td>都市計画室主事 福士 大介</td> </tr> </table>	都市計画室主幹 西山 忠	都市計画室主査 久田 伸之	都市計画室主任 西澤 篤司	都市計画室主事 福士 大介						
都市計画室主幹 西山 忠	都市計画室主査 久田 伸之										
都市計画室主任 西澤 篤司	都市計画室主事 福士 大介										

議 題	<p>1 開会 司会：事務局</p> <p>2 議事 司会：倉田会長 ・配布資料の確認（説明：事務局）</p> <p>(1) 会議録の公開について (2) 八王子らしさとは (3) 景観形成の基本的考え方と取組みの方向性 (4) 取り組むべき主なテーマと具体施策について (5) 中間まとめの構成案について</p> <p>3 その他 第4回会議の日程について</p>
公開・非公開の別	公開
傍 聴 人	4人
配付資料	<p>[事前配付資料] 第3回 八王子市景観計画等検討会議 討議資料</p> <p>[机上配付資料] 次第 第2回 検討会議会議録 第3回 八王子市景観計画等検討会議 参考資料</p>

[午後6時30分開会]

### 【議事（1） 会議録の公開について】

- ・ 第1回検討会議会議録について内容を確認。
- ・ 八王子市ホームページ、事務局窓口等にて公開する。

### 【議事（2） 八王子らしさとは】

### 【議事（3） 景観形成の基本的考え方と取組みの方向性】

- ・ 関連するテーマであるため、討議資料に基づき（2）（3）まとめて事務局から説明。
- ・ 今回は、資料5ページ以降が検討課題。

#### <委員>

- ・ 資料1ページの「■景観を構成する要素」が4点あげられているが、それぞれに関連する部分があり、わざわざ項目立てする理由は何か？むしろ、今なぜ景観なのかを考えると、人の気持ちの部分を中心に守っていくのか、また、まちづくりの視点や組織をどうするかなどのソフト的な取組みを重視した構成にしたらどうか。

#### <事務局（久田主査）>

- ・ ソフト的な部分については、同じページ下段の「■景観の将来像を考える上での基礎的事項」の「③人々の関わり方、取組みの単位」の中に含まれるものとして整理している。
- ・ また、人の気持ちの部分については、「■景観を構成する要素」の「④情景、心象的な景観」の中に含まれるものとして整理している。
- ・ ただし、「要素」として違う捉え方があるということであれば修正していきたい。

#### <委員>

- ・ 「■景観を構成する要素」とあるが、「要素」という表現は適当なのか？「八王子を考えていくための視点」など、別の表現の方が適当ではないか。

#### <委員>

- ・ 「八王子らしさ」という視点から捉えることが重要なポイントになるのではないか。
- ・ 時間・空間を含め、総体的に捉えた「八王子らしさ」を、景観という軸で具体的にブレイクダウンしながら考えていくと、「■景観を構成する要素」という表現が適切であるかどうかが見えてくるのではないか。

<会長>

- ・ 一般に「景観を構成する要素」と言うと、建物であったり、自然であったりを想定する。
- ・ ここで要素として示して、何を求めているのかが分ればよいのではないか。人のアクティビティなど背後にあるものも含めて景観として捉えているという視点を書いておく必要があるだろう。
- ・ この問題は、「議事（４）取り組むべき主なテーマと具体施策」の議論を進める中でより見えてくる部分があると思われるので議論を進めることとする。

**【議事（４） 取り組むべき主なテーマと具体施策について】**

- ・ 討議資料及び参考資料に基づき事務局から説明。
- ・ また、甲州街道（中心市街地地区）の景観上の課題については、国道の整備の機会に合わせて改善をしていきたい。検討会議で出された意見について事務局で取りまとめ、国などと調整しながら具体的な整備に反映していきたいと考えている。本日の会議でご意見をいただきたい。

<委員>

- ・ 地形図を等高線で追いかけると、緑と水に行きつく。八王子のまちらしさには、地形的な構造が根底にあることが大事であるとする。
- ・ 建物を除き、景観を地形的な構造から捉えるという位置付けがもっと強調されてもよい。

<委員>

- ・ 区域によってもテーマ設定の仕方も違って来るだろう。具体的な場所や区域と、それに応じたテーマとの関係性などが今後はっきりと示されてくるのか？

<事務局（久田主査）>

- ・ 具体的な地域や区域を対象とした景観施策の展開が必要と考えている。
- ・ 来年度の検討の中で具体的に絞っていききたいと考えている。具体的な場所や課題をご意見としていただければ、来年度の検討につなげていきたい。

<委員>

- ・ 討議資料４ページ左下の枠囲み（◆景観形成に取り組む姿勢）の書き方を工夫する必要がある。例えば、次のように考えたらどうか。
- ・ 一番目については、過去の人がつくり上げてきたもの、歴史の中でつくってきたものなどな

どに対し、歴史や自然に畏敬・畏怖の念を持ってあたっていくという宣言とする。

- ・ 二番目については、これまで景観上問題がある人工的なものをつくらせてきてしまったという反省と、今後は二の舞を演じないように取り組んでいくという熱意を込めた宣言とする。
- ・ 三番目については、一番目と二番目を原点（自然・歴史と反省・熱意）として、保全、改善の手段や方法論として除去、予防、誘導があるということを示す。
- ・ 四番目については、三番目の取り組みを様々な主体が担わなければならないということを示す。
- ・ 以上のように整理をして、市民の共感を得るような語り口とすることが必要ではないか。

#### <委員>

- ・ 討議資料5ページ「まちなかの農地や緑のある場所を守り育む」について。
- ・ 「農地」は八王子にとって大事なものであると考えている。テレビ番組で見たことだが、イギリスでは農地を環境や景観という観点から積極的に守り育てる施策を行っている。
- ・ 「農地」への施策を積極的に進めることにより、景観も良くなっていく可能性がある。このためには、景観担当と農政部局との連携が必要ではないか。

#### <委員>

- ・ 景観ウォッチングでも視察したが、例えば、市街化区域内の生産緑地については、周囲に屋外広告物を設置させないなど指導を行っているという説明を受けた。これは良い糸口になるのではないか。
- ・ 国分寺市の生産緑地は周囲に生垣があるなど、住宅地の近くにあつて非常にきれい。農協などとの協議の中で、自分達の「農地」は良いものだと思ってもらおう工夫をしているためではないか。
- ・ 「農地」の位置付けをしっかりと行い、施策の中で取り組んでいったらよいのではないか。

#### <会長>

- ・ 改めて八王子を見ると「農地」が多いと感じる。
- ・ 「農地」をどのように再評価するかということは大事なこと。景観の議論も、時代の中で人々の価値観や生活観によるところが大きい。「農地」は単なる食料の生産の場だけではなく、環境や景観においても役割を果たしている、そうした評価をすることで、八王子らしさとして位置付けられてくるのではないか。
- ・ 象徴的な要素として「農地」を取り上げることは、意味のあることではないか。

#### <委員>

- ・ 景観ウォッチングで山林の所有者が、資材置場や残土処理施設として活用するケースがあった。住まいの近隣にあり、きれいだと感じていた中山周辺の丘陵にも産業廃棄物を受け入れる旨の看板があつてビックリした。
- ・ 「農地」と「山林」については、何らかの対応が必要だと実感した。

#### <委員>

- ・ 生産緑地のように住宅地と混在する「農地」の守り方と、里山や谷戸の「農地」の守り方とは分けて考えるべき。同じ「農地」とは言え、施策としての取り組み方が異なる。
- ・ 八王子では里山の保全は、景観とは別の施策の対象となっていくのか。

#### <事務局（西山主幹）>

- ・ 里山の位置付けも都条例（東京都における自然保護と回復に関する条例）の中で可能であるが、位置付けをしても買取りが困難など、現実的には難しい。
- ・ 一例として、かつて緑を守りたいという地元からの要請を受けて、逆線引き（市街化区域から市街化調整区域にした）を行い、緑を保全したことがある。
- ・ また、里山ということでは、多摩ニュータウンの開発の中で酪農を継続したいということから、開発区域から外して市街化調整区域にしたところがある。最近、隣接して農業公園が開園し、一帯として里山の雰囲気は保たれている。

#### <委員>

- ・ 都心周辺の郊外にある自治体では、「農地」について同じような支援目標を掲げている。
- ・ 八王子らしい生産緑地の整え方、里山の整え方を踏み込んで考えていければ、背景となる自然景観との関係でも景観上よくなっていくだろう。
- ・ 「山林」については、資材置場の問題もあるが、むしろ手入れが行われていないことの方が問題だと考えている。どのようにして所有者以外の者が管理に関わり助けていけるか。そうした仕組みを考えていく必要があり、このようなことに踏み込んで景観形成を考えていければよいのではないか。

#### <委員>

- ・ 八王子には畑、緑、川のイメージがある。これらは、住みやすさにつながるものとして市民が共有できるもの。それと同時に固有のものとして、高尾山、多摩御陵などがあり、これらが具体的な言葉として資料に入ってくると、より分かり易くなる。

#### <委員>

- ・ 変えないでおく自然と、変えていくにはどうしたらよいかを考えることが重要。
- ・ 町田市との境にある小山内裏公園は素晴らしい。四季を通じて咲く花の管理や配慮がされている。犬の散歩もサイクリングもできる。ただ整備するだけではなく、四季への細かな配慮がされており、非常に重要なことだと実感した。
- ・ まち中で変えなければならないと強く感じるのはマルベリーブリッジ。八王子に来て良かったという演出がなぜできないのか。先ず手をつけるべきところだと考えている。
- ・ 高尾山口駅周辺にある空色の「高尾山」の看板が周辺と全然合わないと感じた。周辺と調和した色彩にすれば良くなる。
- ・ その他、音も重要な要素だと思う。夕焼け小焼けの他にも八王子に因んだ音楽は沢山ある。お金を使わなくても工夫次第で良くなる。

#### <事務局（西山主幹）>

- ・ マルベリーブリッジについては使い勝手が良くなるよう、庁内で検討を行っているところ。

#### <委員>

- ・ マルベリーブリッジについては、周辺の施設に直結しておらず非常に不便だと感じている。
- ・ また、八王子駅周辺のデパートが少なくなっている。近年では、丸井がゲームセンターに変わり、非常に残念に思っている。今後駅周辺がどのようになっていくのか市民としては心配。

#### <事務局（西山主幹）>

- ・ マルベリーブリッジの整備の際、地元調整が上手くいかず、結果として施設との直結ができなかった経緯がある。
- ・ また、駅周辺の施設として、東京都の繊維試験場周辺を含めた旭町・明神町の再開発の話があり、今後都と調整を行っていく。

#### <委員>

- ・ 八王子駅周辺で一番足りないのは歩行者空間。
- ・ どこのまちでも（商店があるなど）裏通りが良い歩行者空間になっている。八王子で唯一あるのはユーロード。その他は、車の交通で歩行者空間が分断されている。これは、景観というよりも都市計画の問題。車の通りの間に裏通りがあり、ネットワークとしてつながっていく。こうした空間をつくることで学生もまちにでてきて活性化していくのではないかな。

#### <会長>

- ・ 景観計画の検討の中で、まちの中に人々の活動や活力をうみ出して行くことを考えていく必



要がある。

- ・ 特にまち中については、活動の舞台としての景観だけではなく、そこをどのように利用していくのかも考えていくべきである。

<委員>

- ・ 日本は雨が多く傘もささずに歩行できるという点では、商店街に「アーケード」は必要だと感じる。商店街の活性化という面では必要なものではないか。ただ、日本は地震も多いこともあり歩行空間の上に構造物をつくることに心配な面もある。果たしてどちらが良いのか。

<会長>

- ・ 最近の傾向として、まちの主役は歩行者であると考えてようになっている。場所や地域の事情によるが、他の自治体の例では、「アーケード」を撤去してしまい、結果としてよかったと評価しているところもある。

<委員>

- ・ 「アーケード」には古めかしいイメージしかない。基本的に無い方がよいと思っている。むしろ空間を大きく見せて、それぞれの事業者が店頭のディスプレイなどを工夫する。そうした方がまちとして楽しみを感じる。

<会長>

- ・ 現状のような甲州街道の「アーケード」のあり方であれば、むしろ無い方がよいのではないか。

<委員>

- ・ 甲州街道の「アーケード」は、現状では余りにも統一感がなくてひどい状態。
- ・ 町同士で共通した「まちのイメージ」を持つことが必要。考え方の例として、町会の山車は細かく見るとデザインが一つ一つ違うが、伝統的な共通した様式がある。山車のように統一したイメージを話し合いながら共有していくことを行っていったらと思う。

<委員>

- ・ 一つには余りにも商店会の数が多いという現状が問題ではないか。商店会が永い歴史の中で形成されてきた経緯はあるものの、ある程度の数で統合し、リーダーシップを発揮できる体制を考えていく必要があるのではないか。

#### <会長>

- ・ 商店街だけに限らないことだが、活動の場が結果として景観として現れてきている。商店街を歩いていると突然街路灯が変わった、舗装材が変わったということがある。
- ・ 八王子は、自然の骨格はしっかりしていて分り易さを感じるが、後から造った街路などは分り難さを感じる。街路は人々が景観を体感する場であり、街路樹や街路灯のデザインについて「地」の部分として、余計なことをやり過ぎずに骨格として一つの考えを持って整えていく。街路景観をもっと意識して考えていくことが必要ではないか。
- ・ その他、八王子には鉄道の路線が多い。鉄道沿線についても人々が景観を意識するところであり、大きな要素と言える。特に市街地の景観を考える上では重要ではないか。
- ・ 人々が日常的に移動しながら眺める景観もあり、移動手段に伴う景観についても八王子として意識していったらどうかと感じている。

#### <事務局（久田主査）>

- ・ 特に商店街などでは、周辺との違いを際立たせることで売上につなげていきたいという発想を感じる。
- ・ 例として、公衆トイレの設置について商店街の方々と協議を行った際、売上にどのようなつながっていくのか説明を求められた。
- ・ 総論としては理解されても、個々の問題を売上との関係で（景観という観点で）説得をしていくことの難しさも感じている。
- ・ 甲州街道の「アーケード」についても、一旦は撤去する方向でまとまったと聞いたが、実際には費用負担を地元で決断し、新たに「アーケード」を設置している商店街がある。

#### <委員>

- ・ 甲州街道の商店街は、それぞれがバラバラで近隣の方を対象にした商店街のイメージ。周辺地域からも人々を呼ぶのであれば甲州街道を一つの街並みとして整えていく必要がある。市民として個々の商店街がそれぞれの意見を言っている場合ではないと思っている。
- ・ 商店街それぞれにも歴史や経緯があると思うが、景観や環境に対する人々の考えも時とともに変わるので、時間をかけて何回も説得していくことが大切ではないか。

#### <事務局（西山主幹）>

- ・ 西放射線ユーロードを買物公園道路として整備する時に、職員がアーケードの撤去や歩行者専用道路とすることなどについて商店街を説得して回ったと聞いた。
- ・ これはかつての例であるが、景観施策の取り組みとして行っていかなければならないことだと認識している。

<委員>

- ・ 西放射線に車が通っていた時代のまちの中心は甲州街道であった。今とは状況が大分違っていた。人の動きによってまちの状況も変わってくる。

<委員>

- ・ 30年から40年ぐらい前までは甲州街道がまちの中心として栄えていた。商店街がずっと連なっていた。

<委員>

- ・ 甲州街道が寂しくなってきた大きな原因は、マンションが増えてきたことだと考えている。商店の連続性が途切れ、商店や銀行の開店時間も統一感がなくバラバラになってしまっている。
- ・ 他市に勝つためには、商店も個々のことだけ考えてはダメ。テナントもどんどん呼び込むような意識を持つことが必要。ソフトの取り組みが弱いと感じる。

<委員>

- ・ 中心市街地は景観というよりも、まちづくりの問題ではないか。
- ・ 景観の議論を行っていくと、「景観」と「街づくり」とで意見がぶつかる。行政の中でも同じ。
- ・ 検討資料10ページに「行政の横断的な連携」とあるが、ここはもう少し踏み込んで書いても良い部分ではないか。どの部署が連携する主体となるのか書いておいた方がよい。

<会長>

- ・ 景観が総合行政と言われることから、これまでの縦割りの仕組みの中で取り組んでいくことは困難である。この部分は、意識して書いておくべきだろう。

<委員>

- ・ どのような部署との連携を図っていくのかを書くことにより、八王子としての特徴がでてくるのではないかと。「緑」を扱う部署との連携など、主な部署との連携を書くだけでも違ってくる。

<事務局（西山主幹）>

- ・ 庁内では道路、観光、環境などの関連所管による検討委員会を設置している。また、来年度は、国道、都道、河川等との連携をしながら検討を進めていきたいと考えている。

- ・ 検討会議との議論を繰り返しながら、景観計画策定に向けて取り組んでいく。

<会長>

- ・ この議論については、本日結論がでるものでもない。今後も継続して行っていく。

**【議事（５） 中間まとめの構成案について】**

- ・ 事務局より説明。討議資料11ページに「中間まとめの構成案について」掲載している。本日の議論を踏まえて、事務局で再度整理を行う。

<委員>

- ・ 八王子らしい景観をつくろうとして行っている議論なので、取りまとめについても八王子らしさを出していきたい。
- ・ 例えば、本日議論のあった「農」の部分を強調することや、具体的にイメージしている場所を具体的に示すなど、市民にも伝わり易いものにする必要がある。
- ・ また、八王子の特徴を捉えた推進の仕方もある。市内に大学が多いという特性を捉えた連携もあるだろう。

[午後 8 時 4 0 分閉会]